

授業科目	小児科学	2 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		理学 作業	必修 必修

科目担当責任者	齊藤正樹 (保健医療学研究棟 E5**号) e-mail : msaitoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(館延忠)、(福村忍)、(坂井拓朗)、(和田励)、(鎌崎徳高)、(石川匠貴)、(横澤正人)		
概要	小児のリハビリテーションを行う上で、理学療法士・作業療法士に必要な小児神経学および小児科学関連領域の基礎を学習する。また、リハビリテーションの際に理学療法士・作業療法士が理解すべき小児科疾患を概説する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の健康に関する概略を説明することができる。 2. 新生児に関する医学的知識を身につけ、周産期の異常を説明することができる。 3. 脳性麻痺の成因と症候を説明することができる。 4. 小児てんかんの診断と治療について説明することができる。 5. 自閉症、ADHD、LD の区別を説明することができる。 6. 小児神経筋疾患の診断と治療について説明することができる。 7. 代表的な小児疾患を挙げ、典型的な臨床症状を説明することができる。 		
関連科目	人間発達学1、人間発達学2、内科学1、内科学2、神経内科学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	期末定期試験	100%	期末定期試験(100 点満点)で評価する。
教科書	①富田 豊(編集) [2018 年] 「小児科学 第5 版 (標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)」 医学書院		
参考書	①鴨下 重彦(監修) [2009 年] 「ベッドサイドの小児神経・発達の診かた(改訂第3 版)」 南山堂 ②森下 昭廣ら(編集) [2006 年] 「標準小児科学(第6 版)」 医学書院		
履修上の留意点	1→15 の順に学習する予定であるが、順序に変更のある場合や学習内容に改変がある場合はあらかじめ通知する。評価方法・基準に変更がある場合は履修期間内に通知する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	科目ガイダンス/小児科学概論/神経・筋疾患(1)	事前：シラバス、教科書の当該部分を読んでくる。 事後：当日配布資料を復習する。	講義	齊藤・(館)
2	新生児・未熟児	事前：教科書の当該部分を読んでくる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(坂井)
3	重症心身障害児	事前：教科書の当該部分を読んでくる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(福村)
4	神経・筋疾患(2)	事前：教科書の当該部分を読んでくる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(館)
5	遺伝病・先天異常	事前：教科書の当該部分を読んでくる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(石川)
6	呼吸器疾患	事前：教科書の当該部分を読んでくる。	〃	(横澤)

		事後：当日配布資料を復習する。		
7	感染症	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(館)
8	脳性麻痺	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(福村)
9	腎・泌尿器疾患	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(館)
10	発達障害	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(福村)
11	循環器疾患	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(和田)
12	消化器疾患	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(横澤)
13	免疫疾患	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(館)
14	てんかん	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(福村)
15	内分泌疾患	事前：教科書の当該部分を読んでもる。 事後：当日配布資料を復習する。	〃	(鎌崎)